

Lesson 4 Gorillas and Humans (高校第1学年 外国語科)



1人1台端末活用ポイント

- ・読んだ内容について、視覚補助を使いながら自分の言葉で相手に伝えることができる。
- ・読み上げ機能を活用して、本文を聞いて理解することができる。

CAN-DOリスト

- 「読む」 社会的な話題について書かれた文章を読んで、必要な内容や情報を読み取ることができる。
- 「話す」 日常的な話題について聞いたり読んだりした内容をもとにまとめた情報や考えに(やりとり) ついて、尋ねたり答えたりしながら、会話を継続することができる。
- 「聞く」 社会的な話題について、目的に応じて必要な内容や情報を聞き取ることができる。

授業の流れ

3時間(2/3時間)

導入	展開	まとめ
① あいさつ ② ペアでSmall Talkを行う。 ③ 1人1台端末に写真を表示させ、視覚補助として活用する。 活用ポイント 視覚補助 ④ アンケート機能で理解度を把握する。	⑤ 1人1台端末から流れる、音声(本文)を聞く。 活用ポイント 読み上げ機能 ⑥ 聞き取ったことをもとに、投票機能で解答する。 →電子黒板で全体に共有 活用ポイント 投票機能 ⑦ 補助教材を活用して、本文を聞いたり読んだり、音読する。	⑧ 読んだ内容や学んだこと、経験したことに基づき、自分の考えを英語で話したり、書いたりする。

詳細はICT活用教育「プロジェクトE」サイトをご覧ください
<https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>





③

1人1台端末に絵を表示しSmall Talkの材料とします。

対話のルールの確認後、1人1台端末に写真を提示して、Show & Tell活動を行います。

ペアの相手を変えて、3~4回同じ内容で会話することで、クラス全体に、リラックスして話を進める雰囲気ができていきます。

※ CAN-DOリスト「話すこと(やりとり)14」

電子黒板：
アンケート結果速報を表示



④

端末で
アンケート
に回答

アンケート結果を電子黒板に共有して、共通認識を得ます。

共有することで、クラス全体の理解度を共有することができ、生徒は次の話す活動に安心して移行することが可能です。



⑤

本文が表示され
音声流れます

音声読み上げ機能を用いて、自分のペースで音読できます。

生徒の端末に音読用の資料を配布しておきます。資料には、本文と音声が付添されているため、生徒は、その資料を自分のペースで読み進めます。



⑥

生徒の画面が
映し出されます

生徒の端末画面を電子黒板で全体に共有します。

発表する生徒の絵を電子黒板と生徒の端末に表示して、理解を深めます。

※ CAN-DOリスト「話すこと(発表)14」



⑧

描いた絵について
説明します

画像をクラス全体で共有して、考えを共有しながら確認します。

生徒の画面を電子黒板に共有して、生徒と教員が英語でやり取りを行います。

最後に、学んだことを英語でまとめることを指示して授業を終わります。

令和3年10月6日(水)鳥栖高等学校にて、教科リーダーの宮西教諭による英語の授業が実施されました。宮西教諭の授業は、1人1台端末と紙のプリントを見事に使い分け、IE-School情報活用能力の体系表「思考力、判断力、表現力等」ステップ3とCAN-DOリストを有機的に組み合わせ、生徒が生き生きと授業に取り組み思わず会話をしたくなるような仕掛けがふんだんに盛り込まれた、テンポのいい授業でした。